



レインボー

石川県教育支援センターやすらぎ羽咋教室通信 令和6年3月発行
〒925-0021 石川県羽咋市吉崎町1番地2(羽松高校内)
TEL・FAX 0767-22-0345
URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~ushouh/yasuragi/index.htm>

1月1日の能登半島地震から2ヶ月あまり。発災直後、町中にあふれた自衛隊、県外ナンバーの消防車パトカー、ドクターカー、給水車、そして県外市町名のビブスをつけた担当の方々、本当に感謝しかありません。中能登は依然様相は変わりませんが、断水が解消されたり、のと里山海道が通れるようになったり、生活実感が少しずつ良くなってきています。

1ヶ月ほど前、新聞に『能登弁知ってね』という記事がありました。全国からの支援者の皆さんに能登の独特な言葉を紹介していました。「きのどくな～(ありがとう)」は、最近よくまわりで耳にします。「たいそい(疲れた)げんけどお」、「なっとんない(大丈夫)」は、自分らもよく使います。方言は標準語では伝えられない微妙なニュアンスや思いや雰囲気を使い表してくれます。そう言い合うことによって、お互いを思いやり、また一緒に仲間であることを感じます。いいですね能登弁。

進学進級、新しい学校生活について思い悩み不安になることも多い3月です。わやくそ(むちゃくちゃ)で、だらぶち(ばかもん)な相談員2人ですが、SV・SC・SSWの専門家の先生方と一緒に考えていきたいと思ひます。お気軽にご連絡ください。

教育相談概況

令和6年2月末日現在
()内は令和4年度

令和5年度	4月～11月	12月	1月	2月	計
来所相談	52(62)	4(4)	2(5)	5(3)	63(74)
出張相談	5(4)	0(0)	0(0)	0(0)	5(4)
電話相談	66(33)	0(2)	2(0)	7(3)	75(38)
計	123(99)	4(6)	4(5)	12(6)	143(116)

たこ焼きパーティー



2月下旬、待ちに待ったたこ焼きパーティー！

たこ焼き器購入から、準備、買い出し、調理と通室生自身で計画しました。事前に材料レシピカードも手作りし、期待満々。

家でも作っているという通室生の師匠のもと、大きなタコブツがごろっと入った熱々のたこ焼きを頬張りました。最高！！

味のおいしさとともに、通室生のくると

タネをひっくり返す見事な串捌きに相談員は驚嘆でした。経費計算もきっちりできて、次回が楽しみです。



ひとこと

「感謝をこめて」

やすらぎ羽咋教室 スーパーバイザー

田幡 啓子 先生

私は複数の勤務先に勤める非常勤心理師です。今回大きな被害を受けた穴水町もその中に入っています。しかし今回は震災そのものではなく、発災以降の私の思いを話そうと思います。

この間、震災そのものではなく、震災関連のこととても深く傷つく出来事がありました。こころをえぐられるとはこういうことかと思うほど、辛いものでした。そんな中、それぞれの勤務先に出向くと、みなさんがこれまでと変わらず接してくれました。まだ飲用の水も出ない中、コーヒーやお茶を淹れてくださったり、私の雑談に付き合ってくださいたり・・・能登に住む私には被災者ではない同僚はほほいません。それぞれが不安や傷つき、恐怖を抱えていらっしゃると思います。そんな中変わらない対応をしてくださることに感謝の気持ちでいっぱいです。傷そのものを語ることはなくても、周囲の人の優しさに支えられていることへの感謝を述べたいと思います。本当にありがとうございました。



「ふきのとう」

やすらぎ羽咋教室 副室長 勝二 国博

これまでにない未曾有の災害に見舞われ、日常が一変し不安な毎日を送っていることと思いますが、皆様の安全と一日も早い復興をころからお祈りしています。

そろそろ寒さも緩み始め、春の到来が近づいてきました。道端には、「ふきのとう」がボコボコと顔を出してきています。「ふきのとう」は長い冬の間、雪に覆われた寒い暗い地面の中でじっと耐えています。その雪が少しずつ溶けて、「春の陽気」に誘われ、地表に顔を出してきます。今まで勉強や進路のこと、友人や家族のことなどいろいろなことに悩み苦しんでいる人もいます。本教室のスタッフは、悩み多き生徒さんたちの「春の陽気」となれるよう気長に温かく寄り添っていこうと考えています。構えることなく、気軽に電話や来室していただければと思います。



お知らせ

◆令和6年3月23日（土）～4月7日（日）は、閉室となります。

◆次年度のSV・SSW・SC相談日につきましては、4月中旬「やすらぎ羽咋教室 ホームページ」等でお知らせします。